

# 平成 25 年度 全国学力・学習状況調査等を活用した学力向上に向けた事例

事務所名	中部教育事務所	学校名	花巻市立石鳥谷中学校	TEL	0198-45-3117
------	---------	-----	------------	-----	--------------

## 「自己課題解決シート」を用いた授業力向上を目指す取組

### 1 ねらい

- (1) 教員一人一人の課題意識を大切にしながら授業実践を積み重ねる。
- (2) 教員間での学び合いや高め合いの意識を引き出す。

### 2 具体的な実践

- (1) 「自己課題解決シート」の作成
  - ① 教科部会で話し合った「教科経営にむけて」の本筋や方向性に即した指導内容とする。
  - ② 教科指導に関する自己の課題を設定し、1年単位で手立てを講じていく。
  - ③ 授業計画および成果と課題等の記入は、前期・後期に分けて実施する。
  - ④ 指導のスケジュールについては、実態に応じて手直しを可とする。
- (2) 一人一研究の推進  
「自己課題解決シート」に関する授業の実践例をまとめ、その発表の場を設ける。(2日間)
- (3) 全体の流れ  
研究主題(全体) → 教科部会(教科) → 自己課題解決シート(個人) → 一人一研究の発表会(全体)
- (4) 実践例

石鳥谷中学校 研究主題「生徒の主体性を高め、基礎・基本の定着を図る学習指導法の研究 ～学びを結びつける「書く」取組を通して～」

**自己課題解決シート2013 (計画)**  
教科(英語) 氏名( )

【自己の課題】  
学んだことを使って主体的に活動できる生徒の育成

【課題解決がなされたときの生徒の姿】  
1 学習した基本文や語彙を使って、自分のことや身の回りのことを英語で表現できる。聞いたり、読んだりした英語に反応したり、英語で答えることができる。学んだことを自分のことばでまとめることができる。

【改善点】  
の目標とそれを達成させるための練習方法と評価の吟味。の後に、自分に関わることをたくさん表現させる。し細かなステップを踏んで練習させる。評価ももう少し細かく行う。音読練習の後、書く練習を工夫して入れていく。受けられないようにシートをまとめる時間をとったり、次時の一つの活動が...活動に向かわせる。

【改善点】

1 年間後どのようなことが英語でできるようにするかの目標を提示する。また、そのために各学期、各単元、毎時の授業はどんな目標で、どんな活動をするかを提示する。各活動が身についているかのチェック、評価を授業中、定期テスト前後に行う。基本文、語彙の定着のための繰り返し練習、音読練習の工夫をする。授業の受け方や家庭学習の仕方の指導をする。学んだことをまとめたり、学んだことを使う場面の工夫をする。

【スケジュール】

月	課題解決のための取組
1月	・授業の受け方や家庭学習の仕方の指導 ・文字、単語、classroom Englishの指導 ・1学期の目標である『自己紹介(My project1)』の発表に向けた、語彙・文法・作文指導
2月	・文字、単語、classroom Englishの指導 ・既習の文を使う併活動の工夫 ・校内英単語コンテストの取り組み ・2学期の目標である『人を紹介しよう(My project2)』の発表に向けた語彙・文法・作文指導
3月	・3学期の目標である『どんな質問しよう(My project3)』の発表に向けた、語彙・文法・作文指導 ・長文指導

教員のこだわりを大切にしながら授業推進の仲立ちとして、研究通信は有効であった

「自己課題解決シート」と「一人一研究」とのリンク。小さな改善・向上の積み重ねを大切に！

### 3 成果

- ① 「自己課題解決シート」を作成することによって、教科経営と教科指導が一貫して取り組めるようになった。
- ② 校内授業研究会が、個々の実践を振り返る場になった。

<担当指導主事から> **【花巻市教育委員会 主任指導主事 浅利 宏光】**

・全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえ、各自が課題意識をもち日々の実践を積み重ねています。年度当初の方針を踏まえつつ、生徒の実態に応じ柔軟に対応し、学校の教育活動全体を通し生徒に力をつけています。

・研究会では、「目標に対し生徒がどうだったのか、課題を克服するには具体的にどうすればよいか」教科の枠を越え、温かい雰囲気での話し合いがもたれました。研究が点で終わらず、線になるよさがあります。